

地域から

179の窓

岩見沢・南空知面

4月10日の記事

女子野球 栗山高に活気

町内の同じ下宿施設に入居して高校生活を始めた。

新チームの初練習は入学式後の今月8日放課後。選手たちはランニングやトスバツティング、守備練習など約2時間の練習に汗を流した。1年生たちは「雰囲気



が明るく練習しやすい」「先輩のプレーを見習いたい」「チームに早く溶け込みたい」などと抱負を語る。

栗山高と同町は生徒数を増や

栗山高女子硬式野球部に新戦力として加わった1年生部員たち

そうと、2年前に女子野球元日本代表選手の金監督を招き、女子野球同好会を発足。昨年度から女子野球部として活動している。

昨年度は入学生徒50人のうち15人、本年度は同49人のうち16人を女子野球志願者が占め、1学年2間口（定員80人）の維持に貢献している。

昨年度に道内外の中学校を回り、入部志望者を募った金監督は「のびのびと練習に励む1年生が集まった。成長が楽しみ」と喜ぶ。

新チームで挑む初の公式戦は5月11日に開幕する北海道リーグ（北海道女子硬式野球連盟主催、7月7日まで）。社会人と大学、栗山高を含む4高校の計6チームのリーグ戦で、栗山高は初戦、苫小牧市内で駒大苫小牧高と対戦する。主将の沢田芽依さん（2年）は「部員数が倍になったチームをしっかりとめたい。公式戦では、がむしゃらに勝ちにこだわりたい」と意気込んでいる。

（栗山支局 山本忠彦）

■筆者から

雪が消えた栗山高のグラウンドを昨年の秋以来、久しぶりに訪ねた。部員数が31人と倍増したとあって、ランニングなどウォーミングアップの練習からこれまでにない迫力を感じた。

いや、人数だけではない。練習用のユニホーム姿の2年生たちの体つきが昨年に比べて筋肉でひと回り大きくなっていることも理由だろう。多くの1年生を迎えた責任感が加わり、表情は引き締まって見えた。

「目指すのは夏の全国大会制覇」一。部員たちがよく口にする言葉も、それほど遠い夢ではない気がする。